

アクトス出店拡大

研修施設設置 19年3月期、50店計画

バローホールディングスの子会社で会員制スポーツクラブを展開するアクトス(多治見市希望ヶ丘、横山悟社長)は、2019年3月期に前期の倍で過去最多となる50店舗の出店を計画している。高水準の出店を継続し、低価格のフィットネスジムを中心に店舗網を拡大する。年内に自社とフランチャイズ(FC)加盟者の研修施設を設け、店舗の品質を確保する。

(高橋友基)

同社では、新たな市場創出のため若年層の顧客を増やすこと、月額費2700円(税別)の「WILL-G(ウィルジグ)」を展開している。ランニングマシンなどを用意する本格的なフィットネスジムだが、ロッカーやシャワー、浴室をなくして会費を抑えているのが特徴。20〜30代の若者だけで

なく、女性や高齢者とも幅広い会員を獲得している。加盟者による店舗拡大も進める。

会員数の堅調な増加を背景に、積極的な出店を続けており、現在店舗数は87で、18年3月期は前期比2・5倍の25店舗を出店。さらに19年3月期は、50店舗を出店し、20年3月期は100店舗を計画している。人気の高さからFC展開を希望する企業が増加しており、自社に加え、FC研修センターは、アクトスWILL-G(岐阜市茜部本郷)内に設置する。自社だけでなく、増加が見込まれるFC加盟者の教育を充実して運営を支援し、積極出店する中でも店舗の品質を維持する。横山社長は「想定より若い人を取り込めており、新しい市場を創出できている」と話している。